



令和元年 11 月 26 日

伊勢市バリアフリーマスタープラン策定に係る 「まち歩き」を実施します

市では現在、「伊勢市バリアフリーマスタープラン」の策定を進めています。

このマスタープランは、市内の計画的なバリアフリー化の推進により、高齢者や障がい者等が容易に移動でき、誰もが安全・安心に過ごせるまちを実現しようとするもので、国・県・市・施設管理者・学識経験者・各種団体代表等による策定協議会を設置し、協議を進めています。

このたび、市内の下記の2地区で、策定協議会委員による、まち歩き現地確認を実施します。まち歩きには、高齢者や障がいのある委員、職員も参加して、実際に現地で課題を確認し、マスタープラン策定に生かしていきます。

実施日時（予定）

- ① 12月19日（木） 9時30分～〔集合場所〕市役所本庁舎
- ② 12月23日（月） 13時30分～〔集合場所〕二見総合支所

実施場所（詳細は別紙のとおり）

- ① 伊勢市駅・宇治山田駅周辺地区
- ② 二見浦駅周辺地区



※実施当日の「まち歩き」終了後、市役所本庁舎と二見総合支所で、まち歩き結果を踏まえた策定協議会委員の意見を取りまとめます。

まち歩きの公開

各地区における「まち歩き」と、その直後の意見の取りまとめ会議は公開としています。詳細な時間や場所は、都市計画課へ問い合わせてください。

その他

- ・伊勢市は東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、大会参加のパラリンピアンとの交流をきっかけにして、ユニバーサルデザインのまちづくり・心のバリアフリー等の取り組みを推進する自治体「共生社会ホストタウン」に東海3県で唯一登録されており、このバリアフリーマスタープランの策定は共生社会ホストタウンの活動計画に位置付けています。
- ・令和3年度開催の三重とこわか国体・三重とこわか大会に向け、平成29年2月に策定した「伊勢市交通バリアフリー基本構想」に基づき、五十鈴川駅のエレベーターの設置やトイレの整備等を実施しており、道路や横断歩道等、それ以外の事業についても各事業者が取り組んでいます。



令和元年 11 月 伊勢市長定例記者会見 発表資料

- ・観光振興基本計画では、バリアフリーまち歩きマップの作成やウェブサイト「伊勢市バリアフリー」の整備、内宮の参拝をサポートする伊勢オリジナルの仕組み「伊勢おもてなしヘルパー」の構築等、バリアフリー観光に取り組み、今後も全ての人が快適に過ごせる空間づくりを目指すため、ソフト面・ハード面でのバリアフリー化に努めます。

他自治体の策定状況（令和元年 11 月現在）

	策定済み 自治体数	策定中 自治体数	備考
全国	0	12	H30 年度着手：富山県射水市 兵庫県明石市 山口県宇部市 R1 年度着手：北海道長万部町 東京都新宿区 <u>三重県伊勢市</u> 福岡県飯塚市 長崎県長崎市 （他 4 自治体）
中部運輸局管内 （愛知・岐阜・三重・ 静岡・福井）	0	1	<u>三重県伊勢市</u>
三重県内	0	1	<u>三重県伊勢市</u>